

**授業概要**

本授業におけるアメリカとは、アメリカ合衆国のことを指します。従って、本授業では、アメリカ合衆国の歴史を重要なテーマごとに概観することを目的とします。前半（第1回～第5回）にアメリカ合衆国についての重要概念について講義し、後半（第6回～第13回）はアメリカ合衆国とアジアの関係を軸足に講義します。

**授業計画**

第1回	オリエンテーションー歴史学と人文学的ものの見方
第2回	プロテスタントの倫理とアメリカ史
第3回	合衆国憲法と政教分離
第4回	アメリカ史とフロンティア
第5回	奴隷制と「南北戦争」
第6回	「日韓併合」におけるアメリカ合衆国の関わり
第7回	映像資料①
第8回	原爆投下をめぐる諸問題
第9回	占領政策と日米関係
第10回	日朝米関係と朝鮮戦争① 朝鮮半島分断の起源
第11回	日朝米関係と朝鮮戦争② 朝鮮半島核危機と日本
第12回	日韓米関係とベトナム戦争
第13回	日米安保体制と沖縄
第14回	映像資料②
第15回	まとめ
第16回	期末試験

**到達目標**

本授業の最大の目的は、アメリカ合衆国の歴史に関する、基本事項と基本概念を学ぶことを通じて、歴史を見る複眼的な思考法を学ぶことを目指します。よって、細かい固有名詞や年号などを覚えることは第一義的な目的ではなく、アメリカ史を学ぶことを通じて、歴史学の意義や人文学的ものの見方を養うことを主眼とします。また、朝鮮半島情勢が劇的な転換期にある中、アメリカ合衆国と不可分のこの問題についても一定の時間を割いて考察します。

**履修上の注意**

履修：積極的に取り組む意思が求められます。出席・遅刻等の扱いは、大学の規定に準じます。  
授業：日本語で行います。適宜映像資料も取り入れます。また、本講義は、個人的な政治的見解を披歴する場ではなく、歴史学会の研究成果にもとづいた情報の提示と考察を行う場であることを念頭に受講すること。

**予習・復習**

授業内で適宜指示します。

**評価方法**

学期末筆記試験（満点100点）。授業内における取組も加味します。  
大学既定の出席回数を満たさない場合は、期末試験受験資格を喪失します。

**テキスト**

テキストはありません。参考文献として次のものを挙げておきます。  
猿谷要『物語アメリカの歴史ー超大国の行方』、  
ブルース・カミングス『アメリカ西漸史ー“明白なる運命”とその未来』（東洋書林）、  
ブルース・カミングス『朝鮮戦争論 - 忘れられたジェノサイド』（明石書店）。